

中学生150人が鍛錬

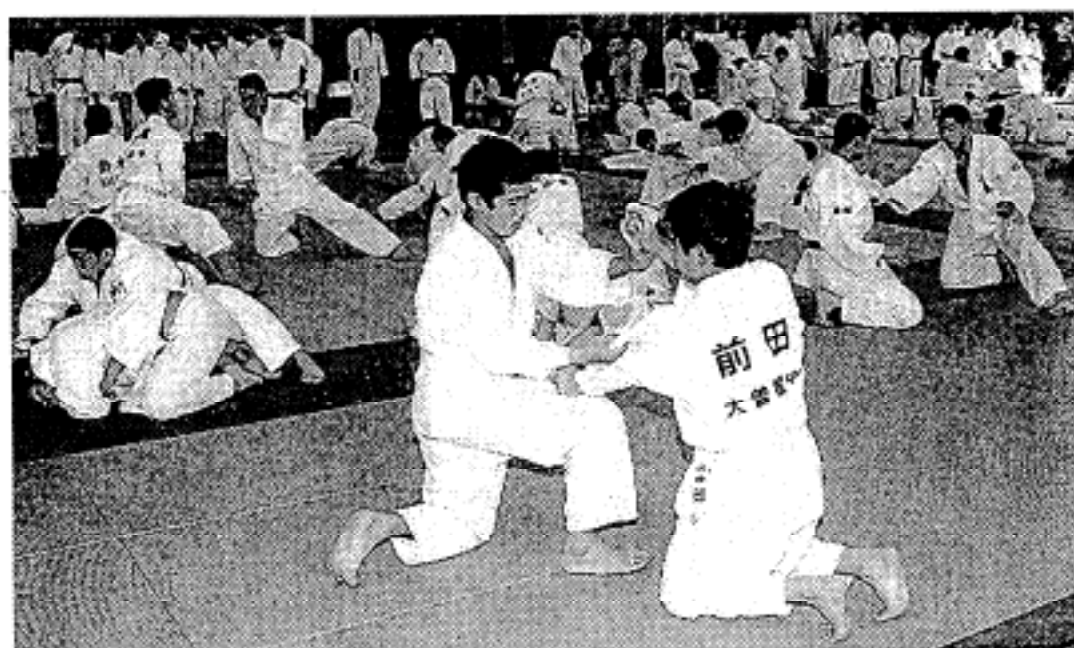
県柔道連盟が
津島で合宿
全国大会へ向け強化

県柔道連盟のジュニア強化合宿が七日から二泊三日の日程で、津島市の武道場「錬成館」で始まった。

全国中学校体育大会に照準を合わせた技量向上と選手層の拡大、有望選手の発掘が狙い。県中学生新人大会で上位入賞した選手ら一、二年生男女合わせて百五十人が参加。初日は朝までの積雪で厳しい冷え込みとなったが、皆きりりとした表情で乱取り、寝技のけい

こに打ち込んだ。

県柔道連盟顧問で昨年には中日文化賞を受賞した、名古屋大医学系研究科教授二村雄次さんらが指導に当たった。県警柔道師範で同連盟の高浜久和選手強化委員長は「競技会のチャンピオンをつくることも大事だが、柔道は力だけでなく人格形成、精神修養のスポーツ。二村さんのような選手の勝者を育てることを目標にしていきたい」と話した。(逢沢 哲明)



技量向上を目指してけいこに打ち込む強化選手たち＝津島市の錬成館で